英語

出題の傾向

今年もこれまでと同様の出題方針を取っており、長文の問題・文の書き換えの問題・整序の問題・会話の問題・語いの問題・空所補充の問題・アクセントの問題・発音の問題・英作文の問題を出題しました。出題範囲も例年通り、既習内容が多く、教科書やワークブックに載っている単語・熟語・構文を身につけておけば、多くの問題に対応できます。

2025 今年度の出題と解説

1 長文の問題

本文内容の一致、英問英答、そして指示語の問題を出しました。今年度はスピーチや会話を通して国によって教室の掃除担当や教科書配布方法が異なることに関する内容を出題しました。

問１　本文の内容一致問題です。全体的な正答率は悪くなく、大まかな英文は読み取れていたように思います。内容一致の問題は本文中から正確に読み取ることが大事です。

問２　英問英答の問題です。本文中より解答のポイントになるキーワードを探してくることはできていましたが、そのまま本文から抜き出している答案が多く見られました。例えば、(3)How long has Mr. Green been in Japan? という質問に対して、主語をHe にせずにMr. Green やSheで答える間違いが多くありました。英問英答の問題では本文の英文を利用して、解答に合う形に書き換えることが大切です。また、全体的に時制や人称を間違えて書く答案が多くあり、答えのポイントは分かっているのに減点されている惜しい答案も多く見られました。

問３　本文中の語が示す具体的な内容を日本語で答える問題です。(3)thatが指す内容ではmore carefully than beforeの部分が欠けている答案が多くみられました。指示語を説明する問題はその前後に答えがあるものが多くありますので慣れが必要です。
今年度も下線部和訳の問題を出題しませんでした。文章全体の流れをきちんと把握することが大切です。

2 文の書き換えの問題

文の書き換えの問題に関する正答率は全体的に非常に悪く、文法が苦手な受験生が多かったように思います。その中で(2)(5)は比較的できていました。(1)ではlendをlentにする解答が目立ちました。基本動詞の変化形を覚える必要があります。 (3)はbe good atの構文ができていても、playingにしていない答案が多くありました。この形式の問題はワークや問題集によく掲載されているので、繰り返し練習することが大切です。

3 整序の問題

今年度も与えられた語句をすべて使用せずに書く答案がありました。また、並べることはできているのに、写し間違えたために減点された答案も多くあります。応用的な問題を理解しているにもかかわらず上記のようなケアレスミスで減点されてしまい、非常に勿体なく感じました。(1)の受動態の主語をThis book ではなくMy father にしたものや、(2)a piece of cake をa cake of pieceにした解答が多くありました。

教科書や問題集に載っている基本的な例文を暗唱して、使えるようにしておくことが大切です。

4 会話の問題

会話文はどの問題も正答率が高く、解きやすかったように思います。会話問題では空所の直前と直後から答えを導く必要があります。会話文全体を読み、答えを選ぶようにしましょう。

5 語いの問題

語いの定義が英語で示されています。(1)(2)の月と曜日はほぼ毎年出題していますので準備をしている生徒が多いようです。(4)のstampが難しかったようです。月と曜日は確実に書けるようにしましょう。また、身近な語いの中でも綴り間違いしやすい単語は出題される可能性が高いので、丁寧に覚えておきましょう。

6　空所補充の問題

教科書レベルの文法力を試す問題です。 (5)のような受動態の文法的知識に関する問題を苦手としている生徒が多くいました。書き換え問題、整序の問題を含め、文法問題は偏りなく、少しずつ出題していますので、音読練習とともに正確な文法的知識も身につけていきましょう。

7　8　アクセント・発音の問題

アクセントと発音の問題は日頃から英文を読む習慣がついている受験生が多いためか、全体的に正答率が高く出ていました。この種の問題への対応は普段の音読が重要です。発音をきちんと覚えることで、リスニングの力も養えるので、日々丁寧に音読をしていきましょう。

9　英作文の問題

例年通りの条件付きの英作文を出題しました。今年度は「ここから病院までどのくらいの距離かを尋ねる場合」を問いました。How farを使わずにHow longを使用している解答など、基本的な疑問詞が使えないものが見られました。また、is itが抜け落ちている解答も多くありました。教科書の基本例文は暗記し、書けるようにしておきましょう。

対策とアドバイス

応用問題も少し見られますが、全体的には学校で使用する教科書や問題集の範囲を大きく逸脱することはありません。基本的レベルの問題を中心に勉強しておけば十分に合格点を取ることができます。定期考査や実力問題を復習し、授業中に出てきた単語、熟語、文法はその都度使えるようにしておきましょう。また、英語を書く練習が不足していると思われる答案が目立ちます。基本的な綴りは確実に書けるようにすること、そして、教科書や問題集の英問英答問題に答えられるように練習していきましょう。本校の過去問を解いて出題傾向を理解することも大切です。

最後に、音読をする習慣を身につけておきましょう。一つ一つ丁寧に音読し、書いて覚える勉強法を実践してください。